



平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社CEホールディングス 上場取引所 東・札
 コード番号 4320 URL http://www.ce-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 惠昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 松澤 好隆 TEL 011(861)1600
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績（平成24年10月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	5,086	63.0	513	—	552	—	347	—
24年9月期第3四半期	3,120	—	△26	—	△16	—	△27	—

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 342百万円 (—%) 24年9月期第3四半期 △23百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	97.64	—
24年9月期第3四半期	△7.66	—

(注) 当社は、平成24年9月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年9月期第3四半期の前年同四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	4,890	3,275	65.8
24年9月期	5,172	2,909	55.9

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 3,219百万円 24年9月期 2,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有
 期末配当 15円00銭 普通配当 10円00銭 記念配当 5円00銭
 詳細は、8月9日付で別途公表いたしました「平成25年9月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年9月期の連結業績予想（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,867	41.7	626	62.4	653	68.8	397	91.5	111.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期3Q	3,703,700株	24年9月期	3,703,700株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	140,028株	24年9月期	140,028株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年9月期3Q	3,563,672株	24年9月期3Q	3,617,276株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策効果等を背景に、輸出環境や消費マインド、企業収益などにも改善がみられ、景気回復への期待感が高まりましたが、原材料価格の上昇や欧州、新興国等の海外経済の動向には依然として懸念が残る環境が続きました。

ソフトウェア業界は、全体的に改善の兆しが見え始めているものの、一部業種は低調に推移し、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループが事業を展開しております医療情報システム業界におきましては、平成25年6月14日に閣議決定された「規制改革実施計画」において、医療ICT化の推進が健康・医療分野の重点事項として掲げられたほか、同日9大臣申し合わせにより決定された「健康・医療戦略」においても、保険者によるICT活用推進や医療・介護情報の連携基盤の構築等が盛り込まれております。また、平成21年度から平成24年度補正予算においては、地域の医師確保、救急医療の確保など、地域における医療課題の解決を図るため、各都道府県に地域医療再生基金が設置され、ICT活用事業も多く計画・実施されており、医療情報システム市場が成長を続ける中、とりわけ電子カルテシステム等の統合系医療情報システムの普及促進が期待されております。

このような状況の中、当社グループの主力事業会社である㈱シーエスアイにおきまして、医療機関への直接販売の強化並びに提携先との連携強化により、電子カルテシステム「MI・RA・I s / P X (ミライズピーエックス)」を中心に積極的な受注活動を展開してまいりました。また、「MI・RA・I s ユーザーフォーラム」の活動等を通じてユーザーニーズの把握に努め、製品の機能強化に取り組むとともに、製品・サービスの品質確保及び顧客満足度の向上を図るため、品質マネジメントシステムの構築を継続的に推進し、平成25年4月19日に国際規格である「ISO9001:2008」の認証を取得しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、中規模病院への電子カルテシステムの直接販売と、既存ユーザーのリプレース [1] が好調に推移したため、売上高5,086百万円(前年同四半期比63.0%増)、利益面におきましては、売上高の増加に伴い販売粗利も増加し、固定費を大幅に上回ったことから、売上総利益1,137百万円(前年同四半期比123.6%増)、営業利益513百万円(前年同四半期営業損失26百万円)、経常利益552百万円(前年同四半期経常損失16百万円)、四半期純利益347百万円(前年同四半期純損失27百万円)となりました。また、受注状況は、主力の電子カルテシステム「MI・RA・I s / P X」の受注が順調に推移し、受注高4,844百万円(前年同四半期比26.9%増)、受注残高2,390百万円(前年同四半期比3.8%増)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

〔電子カルテシステム事業〕

電子カルテシステム事業は、㈱シーエスアイにおきまして、主力の電子カルテシステム「MI・RA・I s / P X」の医療機関への受注・販売ともに好調に推移いたしました。健康・医療ソリューション「Health Clover (ヘルスクローバー)」につきましては、医療現場のニーズに応えるべく、さらなる機能拡張やサービス充実を図り、「電子カルテ/地域医療連携ソリューション」とともに、政府諸施策を見据えながら販売活動に取り組んでまいりました。

医療情報システムの受託開発につきましては、地域中核病院を中心に継続的に日本電気㈱から受注し開発・導入作業を行ってまいりました。

以上の結果、受注高4,802百万円(前年同四半期比26.3%増)、受注残高2,390百万円(前年同四半期比3.8%増)、売上高5,044百万円(前年同四半期比62.5%増)、セグメント利益764百万円(前年同四半期比216.9%増)となりました。

〔その他〕

その他は、㈱エル・アレンジ北海道におきまして、既存の配置薬・健康食品販売事業を中心に取り組むとともに、サービス付高齢者向け住宅対応の同居者情報管理支援システム「La・サンフラワー (ラ・サンフラワー)」並びに高齢者向け安否/安心連絡サービス「安タッチ (あんタッチ)」の拡販に努め、高齢者向け医療・健康サービスの提供を推進してまいりました。

また、平成25年4月18日に設立し、新たに連結子会社となりました㈱C Eリブケアが行っております、ヘルスケア関連情報サービス事業等も「その他」の区分に含めております。

以上の結果、受注高41百万円(前年同四半期比152.0%増)、受注残高なし、売上高41百万円(前年同四半期比152.0%増)、セグメント損失31百万円(前年同四半期セグメント損失2百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,890百万円となり、前連結会計年度末に比べ281百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が421百万円、仕掛品が59百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が732百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,614百万円となり、前連結会計年度末に比べ647百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が35百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が518百万円、長期借入金が208百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,275百万円となり、前連結会計年度末に比べ365百万円増加いたしました。これは主に剰余金の配当により28百万円減少したものの、四半期純利益を347百万円計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

わが国経済の今後の見通しに関しましては、輸出の持ち直しや、政府の各種政策による企業収益の改善、さらには家計所得や投資の増加につながり、景気回復に向かうことが期待されます。

当社グループの主力事業である電子カルテシステム市場におきましては、厚生労働省が推進する医療制度改革の進展などが市場規模拡大の進度に影響を与えることが予想されます。

当社グループはこのような環境の中、㈱シーエスアイにおきまして、主力製品である「MI・RA・I s / P X」を中心に、販売提携先を含めた体制により、受注物件の導入作業を進めるとともに、積極的な受注活動を展開してまいります。販売面におきましては、「MI・RA・I s ユーザーフォーラム」を通じたユーザーニーズの把握や、現場医師からの意見・監修等により、継続的な機能強化を行うとともに、品質向上・顧客満足度向上のため、品質マネジメントシステムのさらなる推進を図ってまいります。

今後、「MI・RA・I s / P X」を主力とする「MI・RA・I s シリーズ」を中心に、「電子カルテ/地域医療連携ソリューション」、健康・医療ソリューション「Health Clover」を加えた患者中心の医療のトータルソリューションのさらなる普及を図ってまいります。

㈱エル・アレンジ北海道につきましては、既存事業を継続しながら、「La・サンフラワー」及び「安タッチ」の拡販に努めてまいります。

㈱CEリブケアにつきましては、ライフステージに応じたコンシューマ向け専門サービスの第一弾として、女性のためのこだわり検索サイト「Mocosuku Woman (モコスクウーマン)」を平成25年5月29日に開始しており、今後も価値の高いヘルスケアコンテンツサービスを提供すべく取り組んでまいります。

平成25年9月期の連結業績見通しにつきましては、平成25年4月22日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、平成25年8月9日開催の当社取締役会において、平成25年9月期の1株当たり期末配当予想を8円から10円に増配し、さらに持株会社体制移行の記念配当5円を加え、合計15円に修正することを決議いたしました。詳細は、同日付で公表いたしました「平成25年9月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

[1] リプレース システムやハードウェア、ソフトウェアなどを新しいものに更新すること。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,019,527	1,441,213
受取手形及び売掛金	1,515,102	782,927
商品及び製品	16,902	16,445
仕掛品	601,848	661,781
原材料及び貯蔵品	789	1,126
その他	47,910	48,341
貸倒引当金	△3,480	△5,096
流動資産合計	3,198,600	2,946,739
固定資産		
有形固定資産	336,938	332,623
無形固定資産		
その他	186,576	146,988
無形固定資産合計	186,576	146,988
投資その他の資産		
関係会社株式	1,139,557	1,143,624
その他	319,930	329,848
貸倒引当金	△9,440	△9,430
投資その他の資産合計	1,450,048	1,464,042
固定資産合計	1,973,563	1,943,654
資産合計	5,172,163	4,890,394
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	940,506	422,465
1年内返済予定の長期借入金	288,263	249,040
未払法人税等	102,333	137,802
その他	137,729	183,075
流動負債合計	1,468,832	992,383
固定負債		
長期借入金	743,278	573,747
その他	50,177	48,694
固定負債合計	793,455	622,441
負債合計	2,262,288	1,614,824

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,590	1,136,590
資本剰余金	1,155,807	1,155,807
利益剰余金	680,262	999,711
自己株式	△75,954	△75,954
株主資本合計	2,896,705	3,216,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,255	3,239
その他の包括利益累計額合計	△3,255	3,239
新株予約権	—	3,180
少数株主持分	16,425	52,994
純資産合計	2,909,875	3,275,569
負債純資産合計	5,172,163	4,890,394

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,120,408	5,086,142
売上原価	2,611,834	3,948,863
売上総利益	508,574	1,137,278
販売費及び一般管理費	535,005	623,840
営業利益又は営業損失(△)	△26,431	513,438
営業外収益		
受取利息	621	374
受取配当金	2,973	2,984
持分法による投資利益	1,647	39,116
保険解約返戻金	3,761	—
その他	4,266	4,277
営業外収益合計	13,268	46,752
営業外費用		
支払利息	1,541	6,351
その他	1,629	945
営業外費用合計	3,171	7,297
経常利益又は経常損失(△)	△16,334	552,893
特別損失		
固定資産除却損	4,361	—
投資有価証券評価損	12,784	—
特別損失合計	17,145	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△33,479	552,893
法人税、住民税及び事業税	3,908	217,252
法人税等調整額	△8,116	113
法人税等合計	△4,207	217,365
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△29,272	335,527
少数株主損失(△)	△1,567	△12,431
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,704	347,958
少数株主損失(△)	△1,567	△12,431
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△29,272	335,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,675	6,495
その他の包括利益合計	5,675	6,495
四半期包括利益	△23,597	342,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,029	354,453
少数株主に係る四半期包括利益	△1,567	△12,431

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 (注) 3
	電子カルテ システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,103,820	16,587	3,120,408	—	3,120,408
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	41	41	△41	—
計	3,103,820	16,628	3,120,449	△41	3,120,408
セグメント利益又は損失(△)	241,425	△2,995	238,430	△264,861	△26,431

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信機器販売事業、配置薬事業及び健康食品販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△264,861千円は、セグメント間取引消去666千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△265,528千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 (注) 3
	電子カルテ システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	5,044,338	41,803	5,086,142	—	5,086,142
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,007	1,007	△1,007	—
計	5,044,338	42,811	5,087,149	△1,007	5,086,142
セグメント利益又は損失(△)	764,964	△31,253	733,710	△220,272	513,438

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信機器販売事業、配置薬事業、健康食品販売事業及びヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△220,272千円は、セグメント間取引消去35,046千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△255,318千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 第2四半期連結累計期間までの㈱シーエスアイ(現㈱C Eホールディングス)の一般管理費は、一部の研究開発費を除き全額をセグメントに帰属しない一般管理費として調整額に含めておりましたが、当第3四半期連結会計期間からは持株会社体制移行に伴う会社分割により、「電子カルテシステム事業」を行う㈱シーエスアイ(新設会社)の一般管理費は「電子カルテシステム事業」のセグメント利益の計算に含めております。当第3四半期連結累計期間において、「電子カルテシステム事業」のセグメント利益の計算に含めた一般管理費の金額は94,993千円であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、製品及びサービスの区別のセグメントから構成されており、「電子カルテシステム開発事業」、「受託システム開発事業」の2つを報告セグメントとして開示しておりましたが、第1四半期連結会計期間から、単一の報告セグメントに変更いたしました。

この変更は、「受託システム開発事業」が総売上高の10%を下回っていること、また、受託している開発・導入作業も電子カルテシステムを含む医療情報システム等であることから、従来の2つのセグメントを統合し、電子カルテシステムという領域において、開発、製造、販売、保守サービス等が有機的一体に機能する単一の組織体であると認識し、一事業での戦略単位としたことによるものです。

従って、当社グループの報告セグメントは、名称を「電子カルテシステム事業」と改め、単一とし、報告セグメントに含まれない「その他」の区分には連結子会社である㈱エル・アレンジ北海道が行っております、通信機器販売事業、配置薬事業及び健康食品販売事業等を記載することといたします。

また、当第3四半期連結会計期間より新たに連結子会社となりました㈱C Eリブケアが行っております、ヘルスケア関連情報サービス事業等も「その他」の区分に含めて記載しております。

なお、「電子カルテシステム事業」は、持株会社体制移行に伴う会社分割により新設した㈱シーエスアイが行っております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、上記の報告セグメント区分変更に基づき作成したものを開示しております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	前年同四半期比(%)
電子カルテシステム事業(千円)	3,957,095	159.5
その他(千円)	3,166	—
合計(千円)	3,960,261	159.6

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 生産実績は当期総製造費用で表示しております。
 3 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期比については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。
 4 セグメント間の取引については相殺消去しております。

② 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
電子カルテシステム事業	4,802,346	126.3	2,390,890	103.8
その他	41,803	252.0	—	—
合計	4,844,150	126.9	2,390,890	103.8

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期比については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	前年同四半期比(%)
電子カルテシステム事業(千円)	5,044,338	162.5
その他(千円)	41,803	252.0
合計(千円)	5,086,142	163.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期比については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 4 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
日本電気株式会社	384,788	12.3	529,702	10.4

本表の金額には、消費税等は含まれておりません。